

正しい姿勢を意識する

副校長 橋本 誠之

令和二年がスタートしてはや一か月が過ぎました。一月は、校内書初め展、連合図工作展や連合書写展、練馬区小学校音楽祭、また、オリンピック・パラリンピック教育特別授業に多くの保護者の方々に参観していただきました。特に第二土曜日授業公開日に実施した道徳授業地区公開講座には、講師に練馬区教育委員会の指導主事をお招きしての意見交換会でしたが、八十名近くの参加者があり、小グループに分かれての意見交流は大盛況で終えることができました。大変ありがとうございました。

さて、先日、大学の先生をお招きして、「児童の困り感とソーシャルスキルトレーニング」というテーマで学ぶ機会がありました。子供たちが困る原因は「授業がわからない」「運動がうまくできない」「友達と上手にかかわれない」など一人一人違いはありますが、共通するのは、「努力しても私は変わらない」という思い込みだそうです。この思い込みを打ち破るには、「これをやれば、かわるかもしれない」という経験、つまり、練習次第でうまくなる成功体験を積んでいくことが必要であるということでした。

先生の話の中でも、特に興味深かったのが、椅子の座り方や鉛筆の持ち方についてです。これは、文字の読み飛ばしや字の雑さなどの困り感には、身体的な不器用さが関係しているということでした。子供たちの椅子の座り方でよく見られるのが、背もたれに背中を付け、足を投げ出したように浅く座る座り方です。本人は間違った姿勢とは思っていません。一見すると楽そうにも見えます。しかし、肩を指一本で軽く抑えられても立ち上がることができません。肘が伸びた状態で字を書くのが難しく、学習へ向かう姿勢とは言えません。また、足を組んだり、うつぶせになったりすると、体が正面を向けず、授業に集中できません。練二小では、背もたれには背中を付けずに、両足の裏は床に付け、背筋を伸ばした姿勢を保つことを指導しています。それは、教科書やノートと一定の距離を保ちやすく目が上下左右に動かしやすい、手首も自由に動かせるので文字を書くことも楽になるからです。

また、鉛筆の持ち方にも、親指持ちや人差し指に極端に力を入れた持ち方など様々ありますが、正しい持ち方をしないと、手が疲れたり、頭を傾けるなど姿勢が崩れてしまったりし、雑でバランスの悪い字になってしまいます。当然、速く書くこともできません。鉛筆は親指と中指の腹で鉛筆をつまんで、人差し指を鉛筆に乗せるのが正しい持ち方です。学習に向かう姿勢には、身体的（座り方、持ち方など）な側面と意欲や興味関心など心情的な側面があります。このうち、ますます大切になる、学習に向かう心を育むための土台となるのが、紹介させていただいた身体的な姿勢だと強く感じています。

速く走る、遠くへ投げる、高く飛ぶ、美しく踊る、きれいに歌う、間違えずに音読する等も「正しい姿勢を意識すること」が要となります。日頃の授業の中でも声掛けをしていますが、決して十分とは言えません。学校と家庭が協力して、座り方や持ち方、学習に取り組むための習慣（学習用具の準備、鉛筆の準備、家庭学習を毎日する）や箸の持ち方などの生活習慣も含め、今一度、ご家庭でお子様と振り返り、これらが正しく身に付いているか見直してみてはいかがでしょうか。

一月の朝会より
 ○年の初めに目標を決めることは大切。決めたことを継続することは、それ以上に大切。
 ○避難訓練での経験を活かし、自分の命は自分で守ることが大切です。
 ○田辺陽子先生の特別授業。本番に至るまでには、アスリートの人生が重なっている。ご家族や恩師のバックアップもある。オリンピック・パラリンピックに向けて、様々な競技の代表選考で、アスリートや家族の思いも感じながら応援してみましよう。

二月の行事予定

- 3 (月) 委員会活動
- 6 (木) クラブ紹介集会①
七輪体験(三年)
- 8 (土) クラブ紹介集会②
学校公開三時間授業
二分の一人式(四年)
- 11 (火) 建国記念の日
- 12 (水) 午前授業
- 13 (木) マラソン月間終
- 14 (金) 避難訓練、煙体験(二年)
新一年生入学説明会
B時程・午前授業(二年)
- 17 (月) お話の会(一、二年)
クラブ活動・クラブ見学(三年)
- 18 (火) お話の会(三、四年)
保護者会(五、六年)
- 19 (水) 薬物乱用防止教室(六年)
- 20 (木) ファミリールール(三、四年)
保護者会(三、四年)
- 21 (金) お別れスポーツ大会(五、六年)
- 23 (日) 天皇誕生日
- 24 (月) 振替休日
- 25 (火) PTA総会
- 26 (水) 保護者会(一、二年)
- 27 (木) 六年生を送る会
- 28 (金) B時程・卒業を祝う会(六年)



- ★今月の生活目標
- ・じょうぶな体をつくろう。
- ★週の生活目標
- ・上着をぬいで遊ぶ。
- ・寒さに負けず元気に遊ぶ。

二分の一人成人式に向けて

四年担任

四年生は、二月八日(土)の二、三時間目に体育館で、「二分の一人成人式」を行います。

「二分の一人成人式」は、十歳という節目である歳を迎えたことを祝い、今までお世話になった方々へ感謝の気持ちを伝えるとともに、これからの夢や目標に向けての決意を表明する式です。

各クラスで募った二分の一人成人式実行委員会」の子供たちが、休み時間や放課後の時間を利用して、プログラムの構成や案内状の作成、会場の装飾、司会原稿の準備などを行っています。当日は「二分の一人成人式証書授与」や「十歳の記念日」の合唱を行います。また、自分のもつよさや可能性をアピールした自分CMを流したり、手紙で感謝の気持ちを伝えたりします。そのための準備をクラスで進めています。二分の一人成人式では、共にお互いの成長を祝い、感謝の気持ちを大切にしてほしいと思います。子供たち、そして保護者の皆様の思い出に残る会になるよう取り組んでいきます。

マラソン月間について

体育的行事部

一月二十四日(金)から二月十三日(木)までの中休みの時間、全校で「マラソン」に取り組みます。

長い距離を走るとは、筋持久力や心肺機能が高まり、冬の寒さに負けない健康な体を作ることにつながります。また、目標を設定して毎日取り組むことで、粘り強く物事に取り組む姿勢も身に付けてほしいと考えています。

中休みの時間に走った周回数をカードにぬっていきます。各学年にあつたカードがあり、完走することで完走証になり、自分の取り組んだ証として残ります。一人一人が、無理なく自分の目標をもって、意欲的に取り組むことで、走ることの楽しさや喜びを感じて欲しいと思います。

ご家庭でも、ぜひ励ましの声をかけていただきますようお願いいたします。



あいさつ運動 川柳大会

生活指導部

毎年、一月下旬に全校児童で「あいさつ運動 川柳大会」に取り組みんでいます。「きたえ国語」の時間に二年生以上が実施し、一年生は、担任と一緒にいきます。

あいさつは、人と人の心をつなぐ上でとても大切なことです。日々の指導に加えて、年一回「あいさつ運動」として取り組み、「気持ちのよいあいさつをしよう」という意欲を喚起したり、「あいさつの大切さ」を考えたりする機会にしています。

「川柳」は難しいところもありますが、「五・七・五」のリズムを楽しんで、「あいさつへの思い」を表現してほしいと考えています。

子供たちが一生懸命考えて取り組む「川柳」では、毎年素敵な作品が生まれています。その中から、各学年三点が優秀賞に選ばれます。二月の学校公開日のときには昇降口に展示しますのでぜひご覧ください。



少人数算数指導の学習

副校長 橋本 誠之

今年度も、算数科では三、六年生の二学級を四コースに分け、習熟度別少人数指導を行っています。担任と講師が連携をとり、児童一人一人に応じたきめ細かい指導を目指し、取り組んでおります。

各コースでは、分かりやすく具体的な操作を取り入れ、理解を深めるコースや既習事項を活用し、自力解決を主体的に取り組むコース等、各コースの子供たちの実態に応じて指導方法の工夫を行っています。そして、少人数の利点を生かし、互いの考えを交流し、考えを広げたり、深めたりする話し合い活動を通して、確かな知識・理解の定着を図っております。

今後も、基礎学力の確かな定着を図るとともに、子供たちが「分かる楽しさ、できる喜び」を実感できるように指導法の工夫を行ってまいります。

